【いばらきモビリティ再編支援事業】＜R8～R10年度＞

R８年１月募集

事業タイプ・類型	地域未来推進型（ソフト事業）	期間中の総事業費（カッコ内はR８年度事業費）	173,333千円（20,000千円）

目的（効果）

・地域の実情に応じた最適な交通モードへの転換に取り組む市町村に対し、ベストミックスな交通体系の構築に向け、検討から交通再編及び運用後の改善検討までの一括したサポートを行い、地域の足の維持確保を図る。
・施策の検討や効果検証にあたっては、ビッグデータの活用も合わせて行うことで、効果的・効率的なデータ分析を実施する。

具体的使途・実施体制
※金額はR8年度事業費

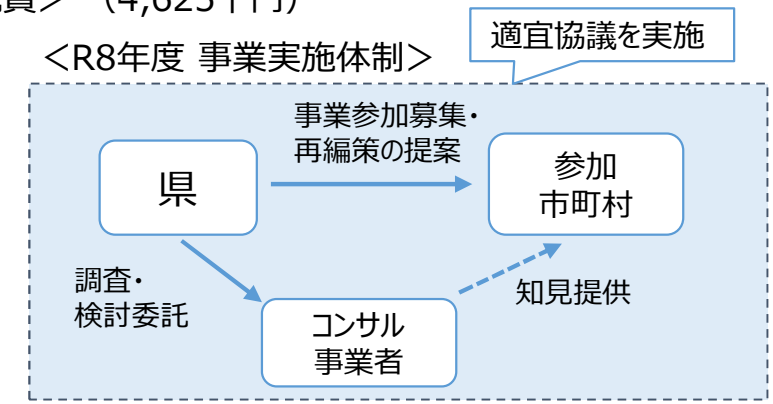
令和８年度は再編に向けた調査・分析を実施（20,000千円）
調査・分析にあたっては、コンサルティング事業者の知見を活用するため、以下のとおり委託事業を実施する。
＜合計委託費＞（20,000千円）（委託先：社会システム㈱）

１　事業参加市町村における課題分析と再編案の考案
県内市町村から参加を募集し、県において選定した５市町*において、県、市町村並びに委託事業者の三者において適宜打合せを実施する。受託者においては、打合せ内容に基づき、参加市町村の地域交通に係る課題を分析し、効果的なコミュニティ交通等の再編案の考案を実施する。＜委託費＞（14,920千円）

２　ビッグデータを用いた分析の実施
事業参加市町村における課題分析の結果、ビッグデータの活用による需要分析が効果的である場合は、データを購入し、人流の状況を分析することで、効果的なコミュニティ交通等の再編につなげる。＜委託費＞（4,625千円）

３　市町村向け意見交換会の実施
当事業による成果を県内市町村に広く展開し、次年度以降の事業実施のためのフィードバックを得ることを目的として、県内市町村を対象とした、対面での意見交換会を開催する。
意見交換会は県が主催し、委託事業者においては、意見交換会の企画補助等を実施する。＜委託費＞（455千円）

＜R8年度 事業実施体制＞



*令和８年度は県南地域（取手市、利根町）、県西地域（下妻市、筑西市、坂東市）の５市町を選定。令和９年度以降も今年度同様、約５市町村を選定予定。